



その人らしくを大切に
社会福祉法人
すこやか福祉会

みんなの「生きる」を
社会福祉法人
すこやか福祉会

2018

1

Vol. 44

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日:2018 年 1 月 1 日 第 44 号

本部事務局 住所:〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL:03-5813-9251

住みなれたまちで



謹賀新年

二〇一八年の新春を迎えるにあたり、

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つがなく新しい年をおむかえのこととお慶び申し上げます。旧年中は、ひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、すこやか福祉会は今年で開設20周年を迎えることができ、7月にはささやかではございますが祝賀会を予定しております。また、その記念すべき年の4月に、足立区西加平で認可保育園「野のはな保育園」を開設いたします。

昨年は、地域貢献活動として「カフェひろば(こども食堂)」を開始しました。介護事業では、サービス事業部制からエリア事業部制に転換し、30代から40代前半の責任者に交代しました。今年は、新しい視点、若い元気のある力で新たな集団をつくり、将来的には保育・介護事業を地域ごとで一体的に運営していくなど、新しいすこやか福祉会の始まりの年になると思います。皆様には更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年は介護報酬が改定されます。また、介護保険制度がさらに分かりづらく使いくく、「介護の社会化」から大きくはずれようとしています。そのような中で私たち法人は、誰もが安心して住み慣れたまちで暮らし続けていくための無差別・平等の地域包括ケアを目指し、「国民・地域住民が主役」、「地域全体が一つとなり地域の福祉づくり」をめざすよう今年も皆様と一緒に運動をすすめていく所存です。皆様にとつて今年も素晴らしい年でありまことを祈念してご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 すこやか福祉会

理事長 中山 美千代

すこやか福祉会を支援する会主催 すこやか作品展 投票結果発表！

昨年、10月30日（月）～11月4日（土）まで葛飾やすらぎの郷で作品展を開催いたしました。今年度は応募総数 31 作品、投票総数 268 票でした。応募して頂いた方、投票して頂いた方、本当にありがとうございました。皆様のご協力・ご支援に感謝致します。

今回の作品は、初めて保育園事業部から出展があり、今までとはまた違った雰囲気の出展でした。団体最優秀賞に輝いたのは、かばらデイの「ステンドグラス」です。電気をつけるとステンドグラスが光り、とても綺麗でした。

個人最優秀賞は、一昨年に引き続き、やすらぎの郷の野島光三郎様（106 歳）です。とても繊細な作品で大好評でした。

優秀賞は団体・個人ともに 2 作品選ばれました。最優秀賞・優秀賞を獲得された皆さま、おめでとうございます！！

来年も開催予定ですので、皆さん来年に向けて今から構想を練っておいて下さいね♪



個人

野島 光三郎様
(葛飾やすらぎの郷)
【花火】



団体

かばらデイサービスセンター
【エコステンドグラス】
～かばらデイ 15 周年バージョン～



団体

八潮市立大瀬学童保育所
【夏休みの思い出「生き物図鑑」】



授賞式の様子



優秀賞獲得！デイかなまちの皆様



個人

安原 勝子様
(新宿在宅サービスセンター)
【助六】



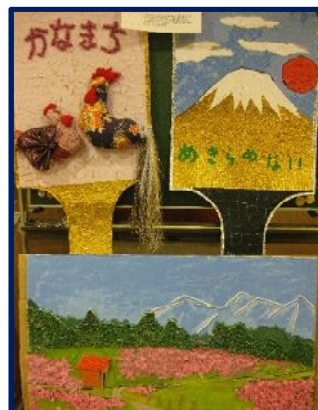
個人

小野田 紀子様
(新宿在宅サービスセンター)
【ちぎり絵】



団体

デイサービスセンターかなまち
【千羽羽子板と秋の野山】





ご長寿 おめでとうございます

すこやか福祉会を利用されている
ご長寿の利用者様 9 名を
ご紹介させていただきます。

※年齢は 2018 年 1 月 1 日現在です

インタビュー

- ①出身地
- ②趣味又は
好きな食べ物
- ③長寿の秘訣

もうすぐ 100 歳



藤田 キクイ様 97 歳
ファミリーケア新小岩



金杉 道子様 99 歳
ファミリーケア柳原

- ①新潟県
- ②山野草の会に入っ
ていてお花が好き。
甘い物が大好き。
- ③若い頃から身体が
丈夫で病気一つせず
仕事に励んでいた。

- ①足立区西新井
(ヘルパーより) 商売
をやめてから始めた
民謡(追分)で教え子
を持つまでになっ
た。人との付き合い
をととても大切にし
ているそうです。

101 歳



武田 節様
葛飾やすらぎの郷

- ①福岡県
- ②編み物
- ③人生焦らず、
なるようになる

皆さんとても 100 歳と
は思えない元気なお姿
ですね!

いつまでもお元気で
お過ごし下さい。



100 歳



新田 多か様
葛飾やすらぎの郷

- ①台東区浅草
- ②歌(英語も)
- ③笑顔



石持 トメ様
葛飾やすらぎの郷

- ①富山県
- ②縫い物
- ③なんでも好き嫌
いなく食べる事



富田 ミツ様
葛飾やすらぎの郷

- ①栃木県
- ②おまんじゅう
- ③元気であること



野本 とく様
葛飾やすらぎの郷

- ①文京区本郷
- ②編み物・煮豆・南瓜
の煮豆
- ③(娘様より)ストレス
が少なかったのでは。
栄養管理がしっかりし
ている。



塚越 ヨシノ様
ファミリーケアみさと

- ①新潟県
- ②本を読むこと
- ③何も考えないこと



102歳**加藤 あき子様**
ファミリーケア柳原

①浅草
(ヘルパーより)良家のお嬢様で、娘さんが高校生になるまでお嬢様つきのお手伝いさんもいたそうです。

106歳**鈴木 セツ様**
ファミリーケア柳原

①新潟県
(ヘルパーより)毎日の朝食に「わあ！ごちそう」と感動の声をあげられ一日が始まります。歌って手踊りしたり、冗談もぼんぼん飛び出す明るい方です。

**葛飾やすらぎの郷の600歳祭り**

600歳というのは、葛飾やすらぎの郷のご利用者5名とショートステイご利用者1名で、なんと6名の方が100歳を迎えられました。生い立ちや若い頃の流行りなどの思い出と共に振り返りつつ、お祝いさせていただきました。

100年間を走りぬいてきたという、とても貴重な場面に立ち合わせていただきました。これからもお元気でいて下さい。

葛飾やすらぎの郷 中島 萌

～保育事業部～

【「こぼと味噌」を作りました♪】 こぼとの森保育園

毎年この時期になると、こぼとの森保育園では、年中組(4歳児)が味噌作りをします。春は畑に苗を植え、夏は大切に育ててきた枝豆を収穫して干し、秋に大豆を取り出しました。その大豆を使つての味噌作り。子どもたちもワクワクしていました。お手伝いの保護者にも参加していただき、味噌作りのスタートです。

【「おいしくな～れ！」が一番の隠し味】

まずは、ラップの芯を使って1人ずつ袋に入れてある茹でた大豆を潰します。歌に合わせてトントンとリズムカルに潰したり、ビニール袋が破けてしまうほど夢中になる子もいました。みんなが潰した大豆は「おいしくな～れ！おいしくな～れ！」とおまじないをしながら、麴と塩とを混ぜ合わせ、空気が入らないように「ぎゅっ！ぎゅっ！」と密閉容器に詰めます。最後に「おいしいお味噌になりますように♪」と願いを込めて作業終了です。



来年の3月、今回作った子どもたちが卒園する時までじっくり寝かせ、完成した味噌を持って、子どもたちはこぼとの森保育園を巣立ってゆきます。

こぼとの森保育園 松井 洋美

地域

連載

共生に向けた
取り組み報告
～地域貢献活動～

【中学校で介護体験授業を行いました】

昨年 10 月に葛飾やすらぎの郷で行われた「すこやか祭り」の中で、子供向け「介護体験」を実施しました。その様子を見た方のご縁から、市川市立 A 中学で、授業の一環として「介護体験」のご依頼をいただきました。

当日は中学 1 年生 120 名を対象に、クラスを交代（1 回につき 60 名）して同じ授業を 2 回行いました。講師は、葛飾やすらぎの郷の木下課長が務め、天野葛飾エリアマネジャーがフォローしました。

まずは、学生への問いかけからスタート。

「みなさんが街中で、介護を必要とする人はどんな人だと思いますか？」

グループに分かれて意見交換・発表しました。

「高齢者」にまつわる回答が多いことを踏まえて、木下課長の体験から

「突然介護が必要になった若い人」として、交通事故にあった友人・趣味のプロレスで頸椎損傷した患者のエピソードを紹介しました。



車椅子の操作方法を説明

【車椅子体験】

その後、さっそく車椅子の体験です。まずは自分でこいで三角コーンを回ってみました。次ぎに、「半身麻痺」の状態で乗車。さらに、両手・両足・両目が不自由な状態での体験。自分ではこげないので、友達に押してもらって、「介助される」体験の感想を話し合っていました。➡



半身麻痺の説明中

半身麻痺状態での車椅子体験



両目・両手足が不自由な状態での車椅子体験

「怖かった」という意見が一番多かったので、「じゃあ、どういう風にしてあげたら怖くないか？」と問いかける木下課長。

・「ゆっくり押して居場所を教えてあげる」

『次は右に曲がよ』などの声かけがほしい」

『今日はいい天気ですね』などの世間話で緊張を和らげる」などの意見が挙がりました。

それらの意見を取り入れて、再度「介助される」体験を実践し、1 回目との違いを話しあいました。



声かけしながらゆっくり車椅子を押す様子

『曲がるよー』と教えてくれたから安心できた」「Nくんが給食の話をしてくれたから安心した」などの意見が挙がりました。

【介助が必要な人には、自分から声をかけてほしい】

木下課長より、「相手が怖くないように声をかけたことが“思いやり”。今後は、街中でも介助が必要な人への“見る目”が変わるはず。自分から声をかけてほしい。中には断わる人もいるけれど、助けを必要としている人の方が多い。そうするともっと住みやすい社会になります。」と締めくくりました。

普段、なかなか接する機会のない車椅子。

「自分には関係ないこと」という気持ちに、少しでも変化があればいいなと願いつつ、帰路につきました。事務局 栗原 つむぎ



御礼の言葉をいただく様子

2018 年度新卒介護職員 内定式・内定者の集い開催報告

【緊張の内定式】

昨年の 11 月 3 日、一昨年に引き続き「内定式」と「交流会」に分けて開催しました。内定式は厳かな雰囲気の中ではじまりました。健和会介護部の清原副部長より、「健和会・協会の歴史」と「優しい心だけでは、介護は出来ない。優しい心と知識と技術を持って共に頑張っていきましょう」と歓迎の言葉をもらいました。また、漆原部長からは「調べる事・観察する事が習慣となり身につけていると仕事に役立ちます」とのお言葉を頂戴しました。

内定者はうなずきながら熱心に聞いてくれました。内定証書授与では証書を受け取る際、手汗をぬぐっている方もいました。

最後に、すこやか福祉会中村事務次長から『人財』・『人材』・『人財』、数種類の意味がある中で、会社にとって、世の中にとって必要な『人財』とな

れるように頑張ってください」と式を締めくくっていただきました。



【笑顔満開の交流会】

その後は、welcome ムード全面の会場へ移動しての交流会。アイスブレイクからはじまり、4 チーム対抗でのマシュマロチャレンジゲームを行いました。内定式の緊張も少しずつほぐれた様子で、食事会がスタート。



先輩職員と一緒に交流会♪

内定者同士交流を深めたり、先輩に不安をぶついたり、さまざまな話に花を咲かせる様子を見て、先輩職員一同ホッとしました。

みなさんの入職を、心待ちにしています！

柳原リハビリテーション病院 兼子 康弘



今号はお休みさせていただきます。

【前回クイズ当選者】

答え：③原様・鶴貝様
おめでとうございます！



読者の声

いつも感想を寄せてくださりありがとうございます。一部ですがご紹介します。

- 「すこやか祭り」は入居者の方も楽しみに待っていたイベントで、とても嬉しそうな顔が印象に残っています。地域とのつながりを一番感じる日でした。
- すこやか祭り楽しそう。私も祭りが好きです。
- 介護事業・保育事業共に活気に満ちた活動を行っている様子が伺えました。写真でたくさん紹介していただき見ごたえがあります。
- 「すこやか作品展」昨年の作品がとても素晴らしく驚きました。今年も楽しみです！

その人らしくを大切に
社会福祉法人
すこやか福祉会

すこやか福祉会

検索

